

## 感染症の予防のための情報提供について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）																										
年齢及び性別	30才・女性	職業	会社員																								
住所	津市																										
発病年月日	令和元年5月3日																										
診断年月日	令和元年5月11日																										
<p>（患者発生の経過）</p> <p>5月3日 軟便の症状がみられた。</p> <p>5月5日 腹痛、下痢の症状がみられた。</p> <p>5月7日 症状継続したため、市内医療機関を受診した。</p> <p>5月11日 5月7日の便検査から、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。</p> <p>5月14日 患者に症状はありません。</p>																											
<p>【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（津保健所）</p>																											
<p>【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>32</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>保菌者</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計(感染者)</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>42</td> <td>51</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>					2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	患者	27	29	29	32	7	保菌者	10	15	13	19	6	計(感染者)	37	44	42	51	13
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年																						
患者	27	29	29	32	7																						
保菌者	10	15	13	19	6																						
計(感染者)	37	44	42	51	13																						
<p>※2019年1月1日～2019年5月14日現在まで本件含む</p> <p>2019年内訳 患者：O157（4人）O26（2人）O111（1人）</p> <p>保菌者：O157（1人）O26（5人）</p>																											
<p>【自分でできる対策】</p> <p>1 予防の3原則</p> <p>① 加熱（菌を殺す）</p> <p>この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。</p> <p>肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。</p> <p>ひき肉は、十分に加熱をしましょう。</p> <p>焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。</p> <p>井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。</p> <p>② 迅速・冷却（菌を増やさない）</p> <p>調理した食品はすぐに食べましょう。</p> <p>冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。</p> <p>③ 清潔（菌をつけない）</p> <p>手指や調理器具は十分に洗いましょう。</p> <p>2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。</p> <p>3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。</p>																											